ピッコロシアター開館40周年記念

ピッコロシアター文化セミナー〈94〉

主催＝兵庫県立尼崎青少年創造劇場

木琴奏者
通崎睦美さんに聞く
「1935をめぐって」

© 中川忠明

開館以来続く人気シリーズ企画：ピッコロシアター文化セミナーの94回目は、木琴奏者の通崎睦美さんをお迎えして開催します。

通崎さんは、1967年京都市生まれ。5歳の時マリンバと出会い、音楽の道に進みます。

1992年京都市立芸術大学音楽研究科を修了し、新進のマリンバ奏者として注目されていた通崎さんが、クラシック音楽界のみならず一般に知られるようになったのは、2002年のこと。初のエッセイ集『天使突抜一丁目 ～ 着物と自転車と』(淡交社)の出版がきっかけです。自ら収集した昭和初期の着物を着て帽子をかぶり颯爽と自転車にまたがる表紙は、広く話題となり多くのメディアにとりあげられました。着物の着こなしのみならず、生まれ育った京都での暮らしぶり、そしてそれを伝える軽妙な文章も合わせて人気となって「マリンバ奏者」に、「アンティーク着物コレクター」「エッセイスト」の肩書きが加わります。

そんな中、2005年、音楽家として新たな展開が訪れました。往年の名木琴奏者・平岡養一(1907-1981)の愛器(1935年シカゴ製)を譲り受け、世界で唯一クラシックの「木琴奏者」としての活動を始めるのです。木琴の音色に導かれるように執筆した平岡養一の評伝『木琴デイズ　平岡養一「天衣無縫の音楽人生」』(講談社)は、第24回吉田秀和賞、第36回サントリー学芸賞を受賞するなど高い評価を受けました。1920～30年代の着物、そして1935年製の木琴、さらには当時の京都の長屋をリノベーションしてお使いだと聞きます。

古い物を愛し、それを今の時代に甦らせる。軽やかに時代の垣根を超える通崎さんの温故知新の精神は、どこから生まれてくるのでしょう。楽しいお話の中に、きっとみなさんの日々を豊かにするヒントが隠されているはずです。

2018年10月20日(土) 15:00開演
＊開場14:30
＊終演16:30(予定)

ピッコロシアター大ホール

8/21(火)
受付開始

〈全席自由・入場無料・先着400名〉 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

申し込み方法

住所・氏名・電話番号・人数（5名まで）を下記いずれかの方法で送付してください。
⇒返信が整理券となります。

① 往復はがき…〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町3-17-8「文化セミナー〈94〉」係
② FAX…06-6426-1943　ピッコロシアター文化セミナー〈94〉宛
③ Eメール…ピッコロシアターHP申込フォーム(8/21開通)http://hyogo-arts.or.jp/piccolo/
※返信(受付番号付き)が5日経って届かない場合は、お手数ですがお電話でご確認ください。

◆ピッコロシアター事務所でも入場整理券をお渡しできます。

駐車場が充分ではありません。ご来館には電車・バスをご利用ください。

主催＝兵庫県立尼崎青少年創造劇場 ／お問い合わせ　ピッコロシアター　06-6426-1940

※月曜休館(祝日の場合は翌日)

文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
独立行政法人日本芸術文化振興会